

旭川赤十字病院の初期臨床研修

基幹型研修病院：定数11名



君は、患者急変時の最初の10分間で
どこまでできる医師になりたいのか！

病院の概要

⇒許可病床数 **520床** (一般 480、うち救命救急センター 52)

⇒常勤医師数 **106名** (2023.04現在)

⇒研修指導医数 **62名** (2023.04現在)

※ 厚生労働省認定の指導医講習会 受講者



⇒標榜科 (28科) ... ほとんどの科が学会の関連施設・認定施設

内科、糖尿病・内分泌内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、循環器内科、
消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、精神科(休診中)、小児科、外科、
消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科
放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、皮膚科

道北圏(人口約41万人) 救命救急の中核病院

- 救命救急センター併設
- 地域医療支援病院
- 地域災害医療センター
- 第二次・三次救急指定病院
- 道北ドクターヘリ基地病院 etc.



救命救急センターには、**Common disease**から超重症まで
多くの救急症例が来院

➡ 2022年度実績	救急外来患者延べ数	9,371 人 (25.6 人/日)
	救急車搬入	4,742 台 (13.0 人/日)
	Walk in	4,495 人 (12.3 人/日)
	ドクターヘリ搬入	134 名/年
	★CPA患者受入数	208 人/年



病院を取り巻く環境

人口33万人
北海道第2の都市

旭川市

病院は市の中心部にあり、
札幌や東京へも日帰りで往復できます



市内に有名な旭山動物園があり、近郊には
富良野や美瑛などの観光地があります



旭川空港



飛行機で
1時間40分

東京

バスで
40分



旭川駅

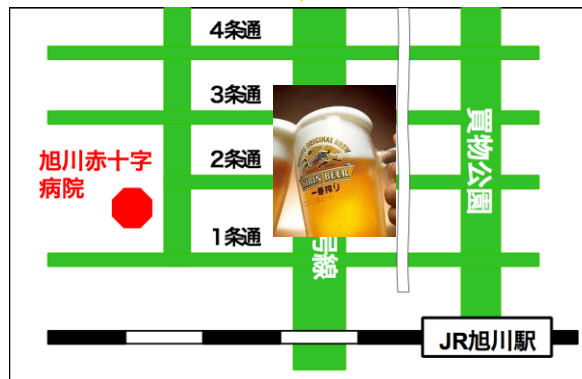
徒歩：15分
タクシー：5分
バス：10分



JRで
1時間20分

札幌

三・六街
(さんろくがい)



旭川赤十字病院における研修の特徴

① 診療科の横断的な連携体制

当院では、内科、外科系共に非常に専門性が高く、各診療科が、多くの学会認定施設となっています

- 糖尿病・内分泌内科
- 血液・腫瘍内科
- 腎臓内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 呼吸器内科
- 脳神経内科

内科

小児科

救急科

外科

総合的な研修
で広い視野を
身に付ける

麻酔科

産婦人科

選択科

- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 病理診断科
- 心臓血管外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 皮膚科

旭川赤十字病院における研修の特徴

② 指導医を全研修分野に配置

医師の過半数（62名）が厚生労働省認定の指導医講習会を受講した臨床研修指導医です。
研修医の身近に存在しながら、臨床能力の開発をサポートしてくれます

各診療科の
垣根が低い為、
気軽に専門医への
相談ができる



各診療科の
視点から深く学ぶ
ことができる為、
研修医間の連携も
充実している

偏りの無い
十分な研修体制が
確立している

旭川赤十字病院における研修の特徴

③ 2年間を通した救急研修

～当院では、2年間を通して
救急患者の診療に参加します～

1 年目

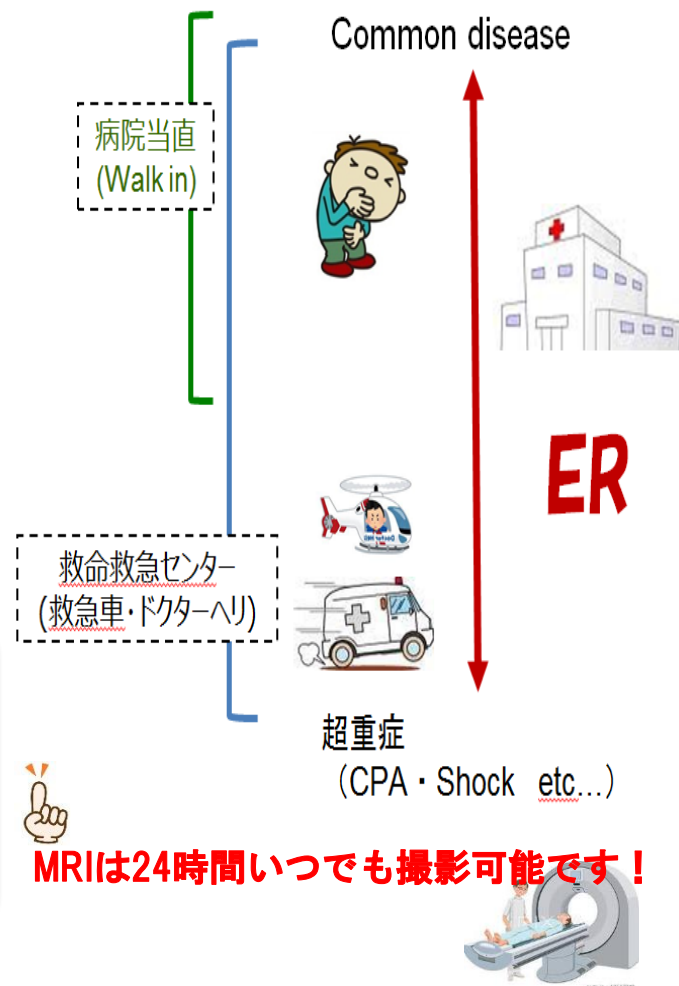
救急科研修（8週） ※初めの4週は麻酔科で全身管理について学びます
当直研修⇒病院当直（Walk in）

2 年目

救急科研修（4週）
当直研修⇒救命救急センター当直（ホットライン）

当直研修：救急外来で3回以上/月（7回/月まで）

- ・研修医の「ひと当直」はありません！
 - ・翌日は、原則として朝から休むことができます！
- 但し 自己研鑽はその限りではありません！



旭川赤十字病院における研修の特徴

④ 多彩な病態・疾患を豊富に経験（日・当直時）

～Walk in編～

- 頭痛
- めまい
- 心窩部痛
- 胸痛
- 呼吸苦
- 腹痛
- 嘔気・嘔吐
- 下痢
- 発熱
- 腰痛
- 血尿
- 咽頭痛
- 外傷
- しびれ
- 血便
- 脱力倦怠感
- 浮腫
- ふらつき
- ・・・等

～救命救急センター編～

- 外傷
- 意識障害
- 失神
- 痙攣
- over dose
- ACS
- Shock
- CPA
- 敗血症
- 脳卒中
- 肺炎
- 気胸
- 腹痛
- 下血
- めまい
- 脱力倦怠感
- 嘔気・嘔吐
- 発熱
- ・・・等

旭川赤十字病院における研修の特徴

⑤ ドクターヘリ同乗実習（2年目希望者）



ERで待機



ドクターヘリ・エンジン・スタート！



救急現場へ出動！



研修医がFAST

2023年度 初期臨床研修プログラム

- 1年次：前年11月頃より、希望をとります
- 2年次：1年次の後半（11月頃）から一緒に考えます

1年次				1年次／2年次			
2 4 週以上			8 週以上	4 週以上	4 週以上	4 週以上	4 週以上
内科①	内科②	内科③	救急	精神	外科	小児	産婦

1年次／2年次		2年次	
4 8 週		4 週以上	4 週以上
自由選択		救急	地域

一般外来研修
(4週以上)
在宅医療研修
(期間指定なし)
も必修研修と
なります

- 一般外来研修：1年次の内科・外科・小児科研修、2年次の地域医療・自由選択期間中に行います
- 在宅医療研修：2年次の地域医療研修期間中に行います
- 救急科研修は1年次と2年次に分けることで、2年次で行う研修（ER）では、1年次よりも多くのことを学び実践できます



必修科目

◆内科（24週以上）

糖尿病・内分泌内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、循環器内科、
消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科

◆救急科（12週以上）

- ・最初の4週間は、麻酔科研修

※ 全身管理に必要な手技(気管挿管、静脈ルート確保など)や知識を身につけるため

- ・5週目以降は、ERにおける救急車対応



◆必修科目（外科（4週以上））

◆必修科目（小児科（4週以上））

◆必修科目（産婦人科（4週以上））

協力型病院：旭川医科大学病院・旭川厚生病院・名寄市立総合病院・釧路赤十字病院
北見赤十字病院、市立旭川病院

※産婦人科研修は協力型病院で行います

◆精神科（4週以上）

協力型病院：旭川圭泉会病院・市立旭川病院・北見赤十字病院、名寄市立総合病院

※精神科研修は常勤医不在の為、協力型病院で行います

必修科目

◆地域医療（4週間） 2年次に行います

協力型病院

①医療法人健康会 くにもと病院
■旭川市

②北海道立羽幌病院
■苫前郡羽幌町

③留萌市立病院
■留萌市

④小清水赤十字病院
■斜里郡小清水町

⑤置戸赤十字病院
■常呂郡置戸町

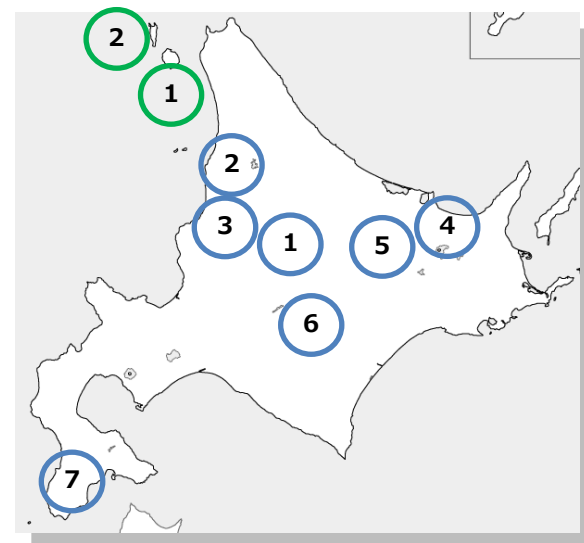
⑥清水赤十字病院
■上川郡清水町

⑦松前町立松前病院
■松前郡松前町

協力施設

①利尻島国保中央病院
■利尻郡利尻町

②礼文町国民健康保険船泊診療所
■礼文郡礼文町



研修開始前に研修医
の希望を協力病院、
施設に伝え、事前に
調整を行います

一般外来研修、
在宅医療研修も
行います



◆協力施設

- ⑫北海道立子ども総合医療・療育センター（心臓血管外科（小児））
■札幌市 ※自由選択のみ

- ⑬旭川リハビリテーション病院（内科）
■旭川市

-

- ⑩名寄市立総合病院（産婦・精神）
■名寄市

- ⑪前橋赤十字病院 (救急)
※道外

OJT(Off the job training)の充実

①レクチャー

モーニングレクチャー&指導医レクチャー 各々2回／月



②ハンズオンセミナー

縫合実習
エコー実習
心エコー
グラム染色
外科的気道確保
PICカテーテル・・・等



③その他（参加費用は病院負担）

ICLS *1年次の5月～6月頃に開催

ACLS

BLS

JPTEC

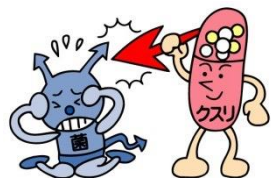
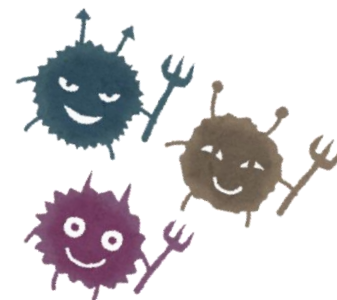
JMECC（院内開催のみ）・・・等



外部講師によるレクチャー



【初期研修 共通のテーマ】



救急診療

画像診断

感染症（抗菌薬の適正使用、予防）



講師：（社）Sapporo Medical Academy代表理事

感染症コンサルタント

岸田 直樹 先生

4回／年開催



文献検索 (On Line)

➤ 図書室のほかに、研修医室図書（単行本、雑誌）

外国文献

- MEDLINE with full text
- ovidSP

国内文献

- メディカルオンライン
- 医中誌 Web・看護索引Web
- 医書.jpオールアクセス

医療系 EBM 実践・診療サポートツール

- DynaMed
- UpToDate
- ovidSP
- Cochrane Library
- CINAHL with Full Text
- 今日の臨床サポート



購読雑誌は127タイトル
洋雑誌：電子ジャーナル36タイトル
和雑誌：91タイトル

当院には
単行本：14,339冊
製本雑誌：4,460冊の蔵書があります

院内で
インターネットに
接続されている
PCで
利用できます



研修環境～充実の設備～

研修医室



研修医宿舎

2年間の研修を快適に過ごせるよう、専用の宿舎を用意しています。病院から徒歩2分程度の場所にあり、宿舎の近くには薬局やコンビニなどもあります



独立した
広い休憩室



ロッカールーム (男女別)

電子カルテ 6台（研修医室 3台・リラックスルーム 3台）、
PC 1台、TV、DVDプレーヤー、研修医図書、購読雑誌 2種類
冷蔵庫、電子レンジ、ウォーターサーバ、電気ポット・・・等



研修環境～アメニティー～

院内設備



TULLY'S
== COFFEE ==



平日 7:30～19:30

土日祝 8:30～18:00

※現在は、新型コロナウイルス感染症対策として、営業時間を変更しております

LAWSON



7:00 ～ 22:00

食堂



研修医の疲れを癒す
くつろぎの空間

研修医の胃袋を
満たす空間

処遇

➤ 給与

1年次 月額 520,000円（当直手当11,000円/回・時間外手当 別途支給）

2年次 月額 550,000円（当直手当11,700円/回・時間外手当 別途支給）

➤ 住宅完備 ※病院から補助が出ます（自己負担：2万円/月程度） 研修医専用住宅3棟

➤ 医師賠償保険は病院で加入 ※自分で加入の必要はありません

➤ 指導医からの指示により学会等で演題発表する場合には、年3回を上限として 旅費、参加費が支給されます

※それ以外に1年次で道内2回（日帰り）、2年次で道内3回、道外1回の
出張に対して旅費・参加費が支給されます

初期研修修了後の進路

➡ 当院の専門研修プログラム（3領域）

☆ 基幹型（内科、救急科、総合診療）

☆ 連携型（内科、外科、救急科、麻酔科、脳神経外科、
整形外科、形成外科、泌尿器科、眼科、病理診断科、
放射線科、皮膚科）

要望に合わせ、さまざまな進路が選べます



2023年度 在籍研修医

☆基幹型 20名

2年次：10名

(旭川医大：5名、札幌医大：3名、北大：1名、新潟大：1名)

1年次：10名

(旭川医大：6名、北大：2名、東京慈恵会医大：1名、金沢大：1名)

<研修医の出身大学>

道内：旭川医科大学・札幌医科大学・北海道大学

道外：弘前大学・山形大学・東北大学・新潟大学・金沢大学・東京医科歯科大学・
聖マリアンナ医科大学・東京大学・東京慈恵会医科大学・大阪大学・
九州産業大学・長崎大学・鹿児島大学・宮崎大学

2023年度 たすきがけ・短期研修の受入

☆たすきがけ 3名

札幌医科大学附属病院	1名（1年目）
旭川医科大学病院	2名（2年目） ※うち1名：8月～1月（6ヶ月間）

☆短期研修 13名

【救急科研修】 10名

旭川厚生病院	4名（2年目）	4週
市立旭川病院	3名（1年目）	4週
富山赤十字病院	2名（2年目）、1名（1年目）	各8週

【脳神経内科】 1名

岐阜赤十字病院	1名（2年目）	4週
---------	---------	----

【腎臓内科】 1名

岐阜赤十字病院	1名（2年目）	4週
---------	---------	----

【脳神経外科】 1名

徳島赤十字病院	1名（2年目）	4週
---------	---------	----

こんな貴方にお勧めします

- 卒後初期2年間をバリバリやりたい貴方
- 急性期医療の力をつけたい貴方
- 自由にやりたいけど、きちんと指導も受けたい貴方
- 程良い数の仲間とのコミュニケーションを求める貴方
- 偶にはのんびりしたい貴方
- 将来専門医を目指す貴方
- 処遇も大切と考える貴方



こんな貴方をお待ちしています

選考について

1) 選考方法 : 書類審査、試験（面接・小論文（事前提出））

※当院は医療研修推進財団が実施するマッチングに参加する為、採用、不採用については
マッチングにより最終決定されます

2) 試験会場 : 旭川赤十字病院

3) 試験日程 : 7月26日（水）

8月 9日（水）・16日（水）・19日（土）・23日（水）計5回開催

※ 交通費補助などの制度もあります

※ 遠方などで事情がある場合には、日程を調整します

※受験希望の有無は希望日の3週間前までに申し出てください

※書類の提出は試験希望日の1週間前までに提出（必着）ください

お問合せ・お申込みは

旭川赤十字病院 教育研修センターまでご連絡ください

TEL : 0166-22-8111（内線1420・1421）

mail : kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp

